

卒業生による講演会

3月19日(金)終業式に、「卒業生による講演会」を行いました。6名の卒業生が登壇し、今年度の大学入試での体験を発表しました。1,2年生全員がアカシアホールで卒業生の話に耳を傾けました。発表は、目標の明確化、学習の工夫、時間の使い方、学校で勉強することの大切さなど、具体的なアドバイスに溢れ、1,2年生は皆、メモを取りながら熱心に聴き入っていました。



【発表者の合格大学紹介】

1. 広島大学 医学部 保健学科 看護学専攻
2. 京都大学 文学部
3. 九州大学 薬学部 臨床薬学科
4. 東京外国語大学 国際社会学部
5. 広島大学 教育学部 人間心理学科
6. 京都大学 工学部 電気電子学科

【1, 2年生の感想より(一部)】

勉強から逃げず、諦めないことが一番大事だと思いました。諦めないことで、自分の勉強法がどうであるかもわかるし、学習時間も確保できると思う。忘望校を早く決め、その大学の傾向や、配点も暗記しておく必要があると知った。その目標に向けて、ぶれず、いかに効率よく諦めずに勉強をすることが必要だと改めてわかった。

今日6名の卒業生の話聞いて最も強く感じたことは、全員心がとても強く、強い精神力をもっていると感じました。精神力は強くないものだと思っていたけど、勉強を続けていくうちに強くなっていくものなんだと感じました。集中力が今の自分に最も足りないものだと思うので集中力を長く続ける練習を早めにスタートしたいと思いました。

お話を聞いていて、自分の意志が強くあり、実践できる人が受かるということ強く感じた。東京外国語大学に合格された方がお話されていた、周囲の風潮に逃げない、ということばがとても強く印象に残った。自分の生活を振り返って、どこか限界を決めてしまっていて、あの子には負けてもしかたない、この問題はとけなくてもしかたない、と考えることがあり、反省した。私は、やりもしないのに逃げたり、模試の判定に一喜一憂したり、とメンタルの弱さを、今回の講演を通して痛感した。

先輩方の実体験をきけて、具体的に今から何をしたらいいのか考えられたような気がします。内容は、明日から取り組めるものもあったので出来ることを自分のものにしていこうと思います。受験がせまっている、という事実をうけとめて、逃げずに、ブレずに、勉強に励みたいと思います。